「水戸学の道」フォトスポットとうまいもん



水戸黄門助さん格さん像



水戸市のフォトスポットとして有名な、助さん、格さんを従えた水戸黄門像。水戸駅北口にある。

白壁塀



二の丸付近では、美しい白壁塀による歴史的景観を楽しむことができる。夜は幻想的にライトアップされる。

茨城県三の丸庁舎



旧県庁本庁舎。茨城県に残る明治以降の洋風建築物としては最大の規模を誇っており、数々の映画やテレビドラマの作品の舞台となっている。



宮下銀座商店街

水戸東照宮の下にある、ディープでレトロな商店街。多彩な飲食店が軒を連ねている。
その独特な雰囲気から、近年ではフォトスポットとしても人気を博している。
2022年には、水戸で初めての常設の寄席「水戸みやぎん寄席」が開かれた。

▲宮下銀座商店会ホームページ



いばらき地酒バー水戸

水戸駅の改札そばで、茨城の地酒が一挙に味わえる。飲み比べのほか、地酒と相性の良い県産食材を使用したおつまみも楽しめる。また、物販エリアでは、地酒や酒器をお土産として購入することができる。
営業時間：10時～22時
定休日：施設（水戸エクセル）の休業日に準ずる日

▲いばらき地酒バー水戸ホームページ



納豆

水戸の納豆は小粒であることが特徴。わら納豆のほか、そぼろ納豆やほし納豆などがあり、お土産としても買うことができる。

▲「納豆のまち水戸 攻略ガイド」（水戸市ホームページ）

発行：水戸市観光課　029-224-1111（代）　2023年9月発行

「水戸学の道」散策マップ

水戸学は、水戸藩主徳川光圀公（水戸黄門）の「大日本史」編纂が始まりとされる。江戸時代後期には、斉昭公らが天皇のもと国全体で諸外国に立ち向かう「尊王攘夷」論を示した。藩を超えて国家的視野から様々な課題に対応する理念が、明治維新や近代日本の形成に大きな役割を果たした。

水戸学の道おすすめルート

------ 水戸学の道

光圀（義公）ルート（約2.5km・約1時間30分）

水戸藩第２代藩主。徳川家康公の孫にあたり、儒学を奨励し、水戸学の基礎を築いた。

水戸黄門助さん格さん像→ A 冠木門→
B 弘道館→ C 大手橋→ D 水戸城大手門→
E 水戸城跡二の丸展示館→ F 水戸城二の丸角櫓→
G 水戸城跡の大シイ→ H 見晴台→ I 杉山門→
J 薬医門→ K 柵町坂下門→ L 義公生誕の地→
水戸黄門助さん格さん像

斉昭（烈公）ルート（約2.5km・約1時間30分）

水戸藩第９代藩主。15代将軍慶喜公の父であり、日本遺産の弘道館や偕楽園を創建するなど、水戸の歴史に大きな足跡を残した。

水戸黄門助さん格さん像→ A 冠木門→
B 弘道館→ M 孔子廟→ N 弘道館鹿島神社→
O 八卦堂→ P 土塁・堀→ R 水戸東照宮→
水戸黄門助さん格さん像

慶喜（将軍）ルート（約4km・約2時間30分）

徳川第15代将軍。水戸で育ち５歳の時から弘道館で学問を修めた。30歳の時に将軍となり、大政奉還を行った。

水戸黄門助さん格さん像→ L 義公生誕の地→
K 柵町坂下門→ J 薬医門→ I 杉山門→
H 見晴台→ G 水戸城跡の大シイ→
F 水戸城二の丸角櫓→ E 水戸城跡二の丸展示館→
D 水戸城大手門→ C 大手橋→ B 弘道館→
Q 水戸東武館→ P 土塁・堀→ A 冠木門→
R 水戸東照宮→水戸黄門助さん格さん像





B 弘道館

「水戸が天下の魁となり、日本の国家を護り将来へ発展できる優秀な人材を育成する」とし、徳川斉昭公が創建した水戸藩の藩校。O の八卦堂には弘道館の建学の精神を示す「弘道館記碑」が収められている。

入館料：大人400円/小中学生・70歳以上200円
開館時間：9時～17時
※：10/1～2月中旬は、9時～16時30分
休館日：12/29～31



D 水戸城大手門

明治期に取り壊されるまで、水戸城を代表する門としての役割を果たしていた。2020年に復元され、水戸城跡の風情を感じることができる。



E 水戸城跡二の丸展示館

日本遺産に認定された「近世日本の教育遺産群ー学ぶ心・礼節の本源ー」をテーマに、水戸彰考館をはじめとして、水戸の教育遺産の貴重な出土品や資料を展示。

入館料：無料　開館時間：9時～16時30分
休館日：12/29～1/3



Q 水戸東武館

水戸藩の武芸を一貫する特徴である「文武不岐」を掲げ、北辰一刀流や新田宮流抜刀術などの武芸を伝えている。1874年設立。



J 薬医門

水戸城で現存する建造物の1つ。正面の軒が深く風格のある門構えとなっているのが特徴。建築年代は、その様式から安土桃山時代末期と推測される。



L 義公生誕の地

徳川光圀公が生まれ、4歳になるまで過ごした地。水戸黄門神社が建てられている。



N 弘道館鹿島神社

祭神は、天照大神の国土平定の祖業に貢献した武甕槌命（タケミカヅチノミコト）で、常陸一の宮である鹿島神宮から分霊を勧請して祀ったもの。



R 水戸東照宮

水戸藩初代藩主徳川頼房公が家康公を祀る神社として創建。頼房公が奉納した銅灯籠や斉昭公が考案した戦車「安神車」などが現存する。2021年に創建から400年をむかえた。



F 水戸城二の丸角櫓

水戸城二の丸の南西角にあった二階建ての櫓で、明治期に撤去されたが、2021年に復元された。水戸城の歴史に関する資料等を展示。

入館料：無料　開館時間：9時30分～16時
休館日：12/29～1/3